

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（国語）科目：（現代の国語） 年間授業計画

教科：（国語）科目：（現代の国語）

単位数：（2）単位

対象：（第1学年 A科～ G科）

教科担当者：

使用教科書：（『新編 現代の国語』大修館書店）

使用教材：（『級別漢字学習7級～2級』とうほう）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	・評価の基準や年間授業計画を確認し、単元や学期ごとの目標を立て、計画的に学習に臨む姿勢づくりをする。	（評価方法） 定期考査 提出物 自己評価表 授業態度 （評価の観点） 【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	2
5月	ナンバーワンか、オンリーワンか（稲垣栄洋）	・説明の仕方に注意して読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。	【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	4
6月	伝わるように話そう	・相手に伝えたいことを、分かりやすく整理して話す。	【主体的に学習に取り組む態度】 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	4
7月	漢字	・常用漢字の読みに慣れるとともに、主な常用漢字が書けるようにする。		3
8月				
9月	意見文の基礎を学ぼう	・意見文の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 ・意見と理由を備えた基本的な文章を書く。		4
10月	水の東西（山崎正和）	・主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をどらえる。 ・論理的な文章の要旨を的確に読み取る。		4
11月	絵や写真を説明しよう	・絵や写真などの情報を説明する文章を書く。 ・わかりやすい説明のしかたを身に付ける。		4
12月	漢字	常用漢字の読みに慣れるとともに、主な常用漢字が書けるようにする。		2
1月	ミニインタビューをしよう	・必要な情報を相手から聞き出せるよう、質問しながら聞く。 ・話の展開に注意し、話を広げたり深めたりしながら聞く。 ・聞き取った情報を活用するためのメモをとる。		3
2月	聞き取ったことをまとめよう	・聞き取った情報を整理したり編集したりして、わかりやすく効果的な文章を書く。 ・読み手からの助言などをふまえ、文章を整えたり、改善したりする。		3
3月	漢字実力試験	・年度内に取り組んだ漢字の読み書きの習熟度を確認し、次年度の学習計画を立てる。		2

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（国語）科目：（現代の国語） 年間授業計画

教科：（国語）科目：（現代の国語）

単位数：（2）単位

対象：（第2学年 A科～ G科）

教科担当者：

使用教科書：（『新編 言語文化』大修館書店）

使用教材：（『級別漢字学習7級～2級』とうほう）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション 級別学習漢字	・評価の基準や年間授業計画を確認し、単元や学期ごとの目標を立て、計画的に学習に臨む姿勢づくりをする。 ・4級の漢検の問題を解き、答え合わせをし、漢字の読み書きをマスターする。	（評価方法） 定期考査 提出物 自己評価表 授業態度 （評価の観点） 【知識・技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	2
5月	コルベ神父（遠藤周作）	・語句の意味を理解し、漢字の読み書きをマスターする。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	【思考・判断・表現】 各言語活動を通して論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとしている。	4
6月	羅生門（芥川龍之介）	・語句の意味を理解し、漢字の読み書きをマスターする。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	また他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	4
7月	漢字	常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書き、文や文章の中で使えるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	3
8月				
9月	いろはうた 仮名遣い・五十音図	・古典を読むための基礎的な知識を学ぶ。		4
10月	枕草子（清少納言） 「うつくしきもの」 「にくきもの」	・平安時代の女流文学の感性を学び、自身の感性を磨く。 ・古語の意味を学び、言語感覚を学ぶ。 ・品詞分解を理解し、古文読解能力を高める。		4
11月	竹取物語	・『竹取物語』の全体像を学び、日本の文化を知る。 ・品詞分解を理解し、古文読解能力を高める。		4
12月	漢字	常用漢字の読みに慣れるとともに、主な常用漢字が書けるようにする。		2
1月	訓詁の決まり 格言	・漢文を訓詁するための規則を学ぶ。 ・身近な格言の由来を知り、語彙を知り、使いこなせるようにする。		3
2月	論語	・『論語』の有名な一節を読み、自身の思想を高める。 ・漢文をきちんと訓詁できる能力を身に着ける。		3
3月	漢字実力試験	・年度内に取り組んだ漢字の読み書きの習熟度を確認し、次年度の学習計画を立てる。		2

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：(国語) 科目：(国語表現) 年間授業計画

教科：(国語) 科目：(国語表現)

単位数：(2) 単位

対象：(第 3 学年 A 科～ G 科)

教科担当者：

使用教科書：(国語表現 改訂版 教育出版)

使用教材：()

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	小論文 入門	課題に示された条件に合わせて、小論文を完成させることができる。	(評価方法) 提出物 自己評価表 授業態度 (評価の観点) 1. 関心・意欲・態度 国語で伝え合う力を進んで高めようとしている。 2. 話す・聞く能力 目的に応じて効果的に話したり、聞き取ったりすることができる。 3. 書く能力 自分の考えを深めて文章を書くことができる。 4. 知識・理解 言葉の役割を理解し、知識として身に付けることができる。	4
5月	小論文 入門	自分や友人が書いた小論文を評価し、小論文に必要な技術について気づくことができる。		6
6月	面接 入門	一般的な質問に対する回答を作成することができる。		6
7月	面接 入門	模擬面接で、面接者や面接官を体験し、自己が身につけなければならない力について気づくことができる。		2
8月				
9月	小論文 実践	課題の意図を正確に捉え、課題に示された条件に合わせて自己の主張をまとめることができる。		6
10月	小論文 実践	資料に示されたデータを正確に読み取り、必要に応じて資料を引用しながら自己の主張をまとめることができる。		4
11月	面接 実践	面接官の質問に対して、型通りの回答にとどまらず、適切な表現・内容で回答することができる。		6
12月	面接 実践	一般的な質問のおおよそに適切に回答することができる。		2
1月	小論文 応用	上級学校の過年度の課題で小論文を完成させる。		4
2月	小論文 応用	上級学校の過年度の課題で小論文を完成させる。	4	
3月	面接 応用	自己の進路希望に合わせた質問に適切に回答することができる。	2	

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：（国語）科目：（現代文） 年間授業計画

教科：（国語）科目：（現代文）

単位数：（2）単位

対象：（第4学年 選択）

教科担当者：

使用教科書：（『新編 現代の国語』大修館書店）

使用教材：（『級別漢字学習7級～2級』とうほう）

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	・評価の基準や年間授業計画を確認し、単元や学期ごとの目標を立て、計画的に学習に臨む姿勢づくりをする。	（評価方法） 提出物 授業態度 （評価の観点） 【関心・意欲・態度】 文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 【読む力】 目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。 【知識・理解】 言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。	2
5月	ミロのヴィーナス	・説明の仕方に注意して読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。		4
6月	ミロのヴィーナス	・相手に伝えたいことを、分かりやすく整理して話す。		4
7月	朗読して味わう	・朗読の基本的な注意点を確認し、理解したことが表れるように工夫して朗読する。 ・詩を朗読し、それを通じてその文章に特有の表現を味わい、読みを深める。		3
8月				
9月	山椒魚	・小説の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 ・意見と理由を備えた基本的な文章を書く。 ・筆者の意図を理解し、表現する。		4
10月	山椒魚	・小説の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 ・意見と理由を備えた基本的な文章を書く。 ・筆者の意図を理解し、表現する。		4
11月	分からないからおもしろい	・必要な情報を相手から聞き出せるよう、質問しながら聞く。 ・話の展開に注意し、話を広げたり深めたりしながら聞く。 ・聞き取った情報を活用するためのメモをとる。		3
12月	複数の観点を生かして理解を深める。	・題材の資料について、理解したことを説明する。 ・自分と異なる資料を呼んだ他者と考えを比較して、自分の考えを深める。 ・最初の自分の考えがどのように深まったかについて確認する。		2
1月	こころ	・小説の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 ・意見と理由を備えた基本的な文章を書く。 ・筆者の意図を理解し、表現する。		3
2月	こころ	・小説の基本的な書き方と、構成の仕方を知る。 ・意見と理由を備えた基本的な文章を書く。 ・筆者の意図を理解し、表現する。		3
3月				